

Ⅲ 住民懇談会の結果

第1章 住民懇談会の概要

1 目的とねらい

住民懇談会は住民の意見をお聞きすることで、福祉3計画の改定等の基礎資料として活用することを目的に、以下の3つのねらいのもと実施した。

- ◆ 住民自らが住んでいる地域について主体的に話し合う場を提供し、そのことで住民が地域の福祉課題等を認識し、どう取り組むとよいか考えるきっかけとする
- ◆ 人口推計等の資料を提示し、調布市の将来像を検討する機会とする
- ◆ 将来像を見据えた上で地域に必要な拠点、住民同士でできる支え合いを検討する

2 住民懇談会の内容

(1) 参加者

調布市に在住、在勤、通学している中学生以上の方
(事前申込制、当日参加も受け入れ)

(2) 話し合いのテーマ

- ①地域にあると良い活動(支え合い・しくみ・居場所)
- ②住民同士でできること、そのために支援してほしいこと

(3) 開催地域

市内を東西南北の4地域に分けて開催した。
各地域の概要は以下のとおりである。

東西南北区分の概要

※人口は平成28年3月1日現在(住民基本台帳)

	東部	西部	南部	北部
区分(小学校学区)	緑ヶ丘小, 若葉小, 滝坂小, 調和小	第一小, 第三小, 石原小, 富士見台小, 多摩川小, 飛田給小	第二小, 八雲台小, 杉森小, 染地小, 国領小, 布田小	北ノ台小, 深大寺小, 上ノ原小, 柏野小
人口	51,675人	66,564人	57,654人	48,351人
地域福祉センター	緑ヶ丘, 入間, 金子	下石原, 西部, 富士見町	染地	菊野台, 調布ヶ丘, 深大寺
児童館	つつじヶ丘, 緑ヶ丘, 東部	多摩川, 西部, 富士見	杉森, 国領, 調布ヶ丘	佐須, 深大寺
地域包括支援センター	仙川, つつじヶ丘	ちょうふ花園, せいじゅ, ちょうふの里	八雲苑, ゆうあい, ときわぎ	はなみずき, 至誠しばさき
社協の拠点	緑ヶ丘ボランティアコーナー 希望の家分場	総合福祉センター 小島町ボランティアコーナー 西部ボランティアコーナー 富士見ボランティアコーナー 希望の家	染地ボランティアコーナー 市民活動支援センター こころの健康支援センター	菊野台ボランティアコーナー 希望の家深大寺 野ヶ谷の郷
地域福祉コーディネーター	平成27年度から 主に第1地域で活動	平成27年度から 主に第10地域で活動	平成25年度から 主に第7地域で活動	平成25年度から 主に第5地域で活動

Ⅲ 住民懇談会の結果

(4) 開催日時と参加者数

多くの方に参加していただくため、同様の内容で東西南北で、①平日の夜と②土日の昼間の2回ずつ開催した。

地域 (会場)	日時	参加者数			
		市民		社会福祉 協議会	計
		男	女		
東部 (仙川ふれあいの家)	①11月14日(月)18:30~20:30	3	5	1	9
	②12月10日(土)13:30~15:30	6	16	1	23
西部 (総合福祉センター)	①11月15日(火)18:30~20:30	8	4	1	13
	②12月11日(日)9:30~11:30	7	5	1	13
南部 (総合福祉センター)	①11月16日(水)18:30~20:30	7	8	1	16
	②12月10日(土)9:30~11:30	8	7	1	16
北部 (総合福祉センター)	①11月17日(木)18:30~20:30	7	4	1	12
	②12月11日(日)13:00~15:00	5	4	1	10
合計		51	53	8	112

(5) 実施手法

1地域ごとに6~7人で1グループをつくり、グループディスカッション形式で実施した。

意見や話し合いはKJ法によりまとめ、最後にグループごとに話し合いの結果を発表していただいた。

3 住民懇談会でいただいた意見のまとめ

住民懇談会でいただいた意見を地域別に表としてまとめた。

活動について、「誰でも気軽に・多世代・親子等の交流」、「防災活動」、「趣味・スポーツ活動」、「活動の担い手」については、どこの地域でも『地域にあると良い活動』、『地域でできること、必要な支援』のどちらにも見られ、特に西部地域では「担い手」に対する意見が多く見られた。

また、「子ども・子育て支援」、「高齢者支援」、「障害者支援」等の対象者別の活動は、どの地域でも見られたが、量は参加していただいた方々の属性にも関係すると思われる。

しくみについて、「身近な相談などの相談」は『地域にあると良い活動』では、どの地域でも見られるが、取り組むまではハードルが高いのか、『地域でできること、必要な支援』にはあまり見られない。また、「コーディネート機能の充実」、「地域で話し合う場、地域活動団体の連携等のネットワークの構築」、「情報発信・共有の充実」、「有償ボランティア、ボランティアポイント制度」、「空き家・空き店舗等の場所の活用」についても多く見られる。

今後、交流の場づくり、活動の活性化、担い手育成等のために、コーディネート機能の充実、ネットワークの構築のための支援、情報発信・共有支援、居場所の確保のための支援等、市と社協で支援方法を検討していく必要がある。

Ⅲ 住民懇談会の結果

		東部		西部		南部		北部		
		い地域活動にあると良	と地域で必要とできる支援	い地域活動にあると良	と地域で必要とできる支援	い地域活動にあると良	と地域で必要とできる支援	い地域活動にあると良	と地域で必要とできる支援	
		※●は平日の夜・土日どちらの日程でも見られた意見 ○はどちらかの日程のみ見られた意見								
活動	交流	誰でも(障害者・高齢者)気軽に寄れる場づくり、サロン	●	○	●	○	●	○	●	○
		子どもと高齢者の交流の場(高齢者の子育て支援)	●	○	○	○	●	○	○	○
		親子・子育て世代が集える場(安全に遊べる場等)	○	○	○	○	○	○	○	○
		多世代・世代間交流の場	○	○	●	○	○	○	●	○
		新旧住民の交流、引っ越してきた人との交流	○	○	○	○	○	○	○	○
	自治会	自治会活動の活性化	○	○	○	○	●	●	●	●
		自治会の担い手拡充	○	○	○	○	○	○	●	○
	祭り	祭り	○	○	●	●	○	○	○	
	活動の担い手	人材確保・発掘・育成	○	○	○	○	○	○	○	●
		若い世代・学生の活用	○	○	○	●	○	●	○	●
		男性の参加促進・活用	○	○	○	○	○	○	○	○
		高齢者の活用(知識、昔の遊びを教える等)	○	○	○	○	○	○	○	○
		福祉に関して学ぶ機会の提供(認知症サポーター等)、啓発	○	○	○	●	○	○	●	○
		企業・商店への協力要請	○	○	○	○	○	●	○	○
	主体的に動く	あいさつ・声かけ	○	●	○	●	●	●	●	●
		活動に参加する	○	●	○	○	○	●	○	○
		親切・おせっかい	●	○	○	○	○	●	○	○
		活動に誘う、連れ出す、送迎	○	○	○	○	○	○	○	○
	趣味・スポーツ活動	趣味活動	○	○	○	○	●	○	○	○
		ポッチャ	○	○	○	○	○	○	○	○
その他健康増進活動(スポーツ)		●	○	○	○	●	○	○	○	
料理		○	○	○	○	○	○	○	○	
食事会(大人食堂)		○	○	●	○	○	○	○	○	
飲み会		○	○	○	●	○	○	○	○	
農業・土いじり		○	○	●	○	○	○	○	○	
子ども・子育て支援	子ども居場所(放課後の居場所、勉強場所、遊び場)	●	○	○	○	○	○	●	○	
	子どもを預かってくれる場所	○	○	●	○	○	○	○	○	
	子ども食堂	○	○	●	○	○	○	○	○	
	学習支援	○	○	○	○	○	○	○	○	
	子ども等の見守り(見回り・パトロール)	○	○	○	○	○	○	○	○	
高齢者支援	高齢者の見守り	○	○	○	○	●	○	○	○	
	高齢者宅訪問	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認知症の方の見守り(認知症サポーター)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	高齢者への生活支援	○	○	○	○	○	○	○	○	
障害者支援	障害者の訪問	○	○	●	○	○	○	○	○	
	障害者の見守り	○	○	○	○	○	○	○	○	
	障害者が活躍できるしくみ(地域活動参加促進等)	○	○	○	○	●	●	○	○	
	障害者への理解を進める活動	○	○	○	○	●	●	○	○	
その他支援	ひきこもり支援	○	○	○	○	○	○	○	○	
	介護者支援	○	○	○	○	○	○	○	○	
	フードバンク、生活困窮者支援	○	○	○	○	○	○	○	○	
防災・防犯	防災活動	○	○	●	●	●	●	●	●	
	災害時の助け合い	○	○	○	○	○	●	○	●	
	防犯活動	○	○	○	○	○	○	○	○	
生活支援	ゴミ出し手伝い	○	○	●	○	○	○	○	○	
	買い物支援	○	○	○	○	○	○	●	○	
	PC機器の使い方サポート・相談、電気関係	○	○	○	○	○	○	○	○	
	移動支援	○	○	○	○	○	○	○	○	
	その他ちょっとした助け合い・支え合い	●	●	●	○	○	●	○	○	
その他地域活動	美化清掃活動	○	○	○	○	●	○	○	○	
	マナーを正す活動	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地域のねご等への活動	○	○	○	○	○	○	○	○	

		東部		西部		南部		北部		
		い地域活動にあると良	と地域で必要とできる支援	い地域活動にあると良	と地域で必要とできる支援	い地域活動にあると良	と地域で必要とできる支援	い地域活動にあると良	と地域で必要とできる支援	
		※●は平日の夜・土日どちらの日程でも見られた意見 ○はどちらかの日程のみ見られた意見								
しくみ	相談	身近な相談場所	○	○	○		○		●	
		高齢者が相談できる場所	○		○				○	
		子育ての悩みが相談できる場所	○				○		○	
	コーディネート	コーディネート機能(地域福祉コーディネーター)の充実	○	○		●	○	○	○	●
		生活の困りごとを抱える人を発見する取組			○				○	
	ネットワーク	地域で話し合う場(住民懇談会、同じ悩みを持つ人)	○	○	○	○			○	
		地域活動団体の連携		○		○		○	○	●
		福祉施設職員同士の交流・連携			○	○				
		福祉施設職員同士の交流・連携			○	○				
	情報発信・提供	地域活動の情報提供・共有の充実(行政の支援)	○	●	○	●	●	●	○	●
		福祉に関する情報提供・共有の充実(ふくしの窓含む)	○		●	●	○	○	○	
		回覧板の活用	○	○			○	○		○
		掲示板の活用	○				●			○
	活動活性化のしくみ	有償ボランティア			○	○				○
		ボランティアのポイント制度(地域通貨の活用等)		○	○	○				
		寄付	○			○		○		○
			○	○	○	○		●		○
	場所の活用	地域の集会所・フリースペース	○	○	○	●	●		○	
		個人宅の活用		○	○			○		○
		空き家活用(情報収集、経済的支援)	○	○	●	●	○	○	○	●
		空き店舗の活用	○	○	●	○		○	○	○
		公共施設活用	○	○		●		●		
		福祉施設の活用	○		○					
		飛行場の活用			○	○				
スタジアム等の活用				○	○	○				
その他	施設	公園の充実	●	○	○		○		○	
		スポーツ施設・場所の充実	○				○			
	交通	交通安全に向けた取組み	○					○	○	
		交通手段の充実	○	○	○	○	○		●	○
		道路の整備、安全確保(行政への要望)			●		○	●		

第2章 参加者アンケートの結果

住民懇談会の参加者にアンケート調査を実施した。回収数は全体で93件である。

アンケート調査結果によると、参加者の性別は「男性(50.5%)」と「女性(49.5%)」がほぼ半数ずつである。年代は「60歳代(24.7%)」、「50歳代(23.7%)」、「70歳代(19.4%)」の順で多くなっている。

住民懇談会への参加経路は「チラシを見て(41.9%)」が最も多くなっている。

地域活動(所属団体)は「自治会(25.8%)」が最も多く、「民生委員・児童委員(16.1%)」、「ひだまりサロン(11.8%)」、「社会福祉法人(10.8%)」が続いている。

懇談会については、参加して「参考になった(81.7%)」と「まあ参考になった(12.9%)」を合わせると、9割超の人が参考になったと答えている。また、意見を書いて紙に貼りながら進める話し合いの方法については「分かりやすい(62.4%)」と「まあ分かりやすい(28.0%)」を合わせると、9割超の人が分かりやすいと答えている。

今後の住民懇談会については、9割程度(91.4%)の人が開催の必要があると答えている。

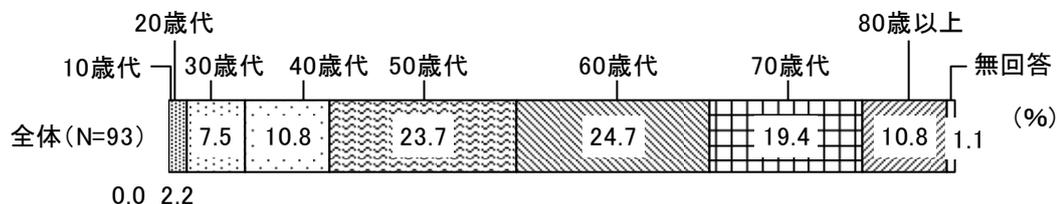
■参加地域



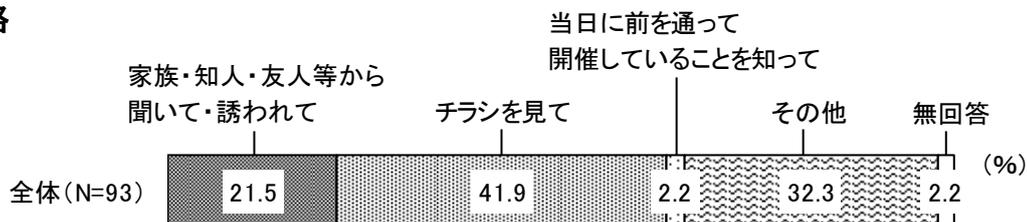
■性別



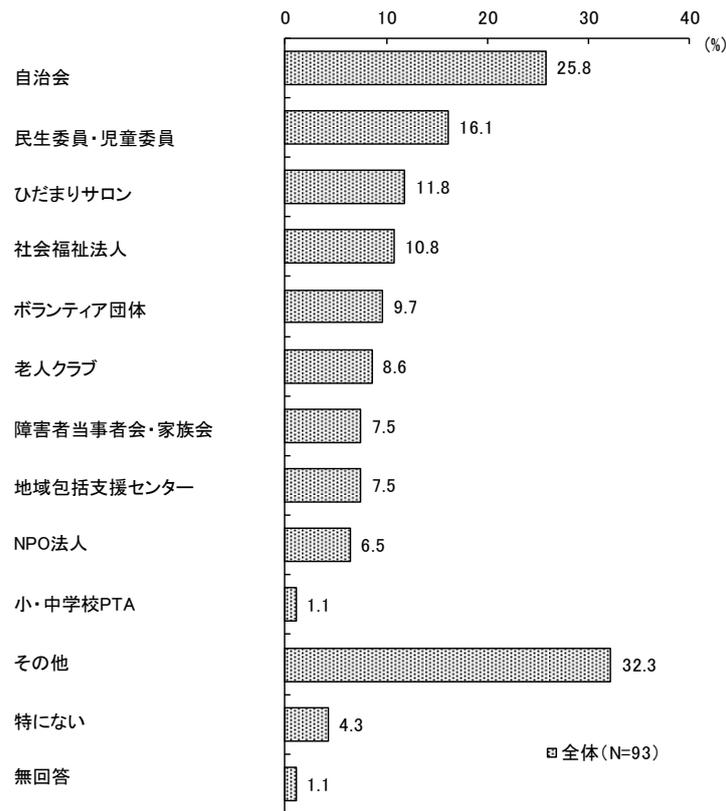
■年代



■参加経路



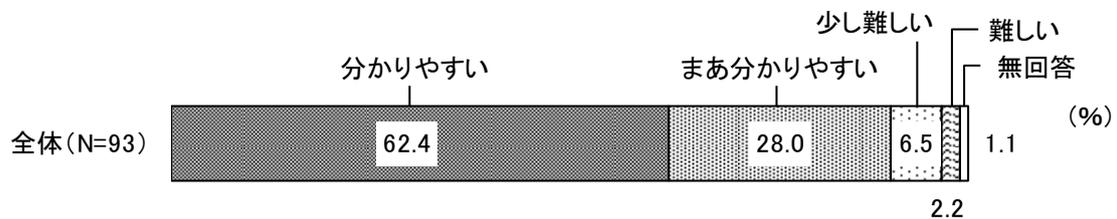
■地域活動（所属団体）：複数回答



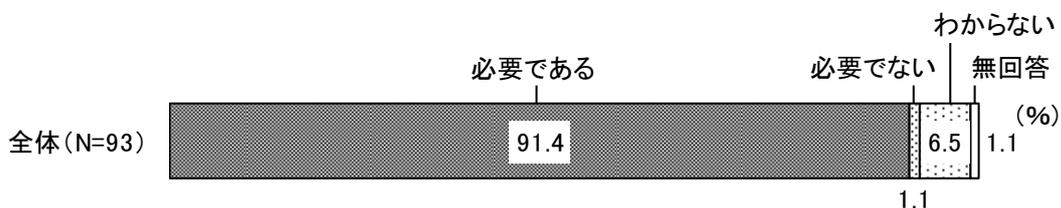
■住民懇談会に参加して参考になった程度



■意見を書いて紙に貼りながら進める話し合いの方法の分かりやすさ



■今後の住民懇談会の開催の必要性



■住民懇談会についての感想・意見

自由回答も多数いただいたので、主なものを抜粋する。

◇懇談会の参加者について

- ・ いろいろな年齢層の人が参加されるとよいと思った。
- ・ 地域に住んでいる生の声が聞けるのはとてもよかった。もっと地域住民が参加するには、どうすればいいか考えたい。
- ・ 住民の人数が少なすぎるので、地域のつながりのなさを感じました。多くの意見(人)を集める努力が必要と思います。
- ・ 住民参加が少ないのは残念です。専門家、関係者が多い席の中、いろいろ刺激を受けました。
- ・ 委員の方々の参加が多く、もっと一般市民の参加が必要。集まって終わりではなく、勇気を持って参加した方々としっかり結びつける、このあとの取組みが非常に大事だと思います。
- ・ 福祉の提供側ではなく受給者側の意見が集まる場でなければ、あまり意味がないように思いました。
- ・ もっと沢山の方に参加していただける時間帯であったり、地域の皆さんに関わっている方々からの話も伺いたかったです。
- ・ もっと多くの方、若い方の参加があると良かったです。広報に問題があるのでしょうか。
- ・ もっと地域の住民の方々が多数集えるような仕掛けをお願いします。

◇参加してよかった

- ・ 地域の方と色々な意見を出しあい、色々な考えがあることを知り勉強になりました。
- ・ 各自色々な意見が出て、良い懇談会でした。ありがとうございました。
- ・ とても勉強になりました。
- ・ とても楽しく学ばせていただきました。ありがとうございます。
- ・ 包括としても住民の方の思い、地域の課題を知ることができる、とてもいいきっかけになりました。ありがとうございます。
- ・ 地域の方と知り合えて良かったです。
- ・ いろいろな意見を聞いて良かった。しっかりと根づいた活動をしている人の意見は確かで力強いエネルギーがみなぎっていました。
- ・ すばらしい企画だと思います。皆様のご意見をうかがい、自分の自治会のレベルアップを今後も考え、進めてまいりたいと思います。努力・情熱・信念を持って進み、真心をもって対応することをちかいます。
- ・ 住民皆さんの生活者の意見参考になりました。病院も何らかの形で役に立てたらと思います。

◇懇談会の方法について

- ・皆さんの考えが分かりやすく、項目ごとに話し合えたことが大変よかった。
- ・問題意識を持っていても今回の方法だと整理ができてよかった。
- ・一般市民にはワークは難しいです。本来、吸い上げたい市民の声が果たして聞こえてくるのか。これからの課題と思います。サイレントマジョリティは声を上げないかも。残念ですが。
- ・グループワーク内容をもう少し具体的にしていただけると考えやすかったという印象がありました。
- ・短時間に集中して考えてみるのも良いことだと思った。他の発表が大変役に立ちました。
- ・周知の仕方が足りないと思った。

◇話し合いの内容について

- ・地域の抱えている問題が取り上げられてよかった。
- ・障害者や高齢者の住みよいまちづくり、世代間交流など必要と感じた。
- ・今まで何事もなく生活してきましたが、改めて大切なことを忘れていたなと思いました。今の状態が満足でもないのに、日々追われていますので反省しています。今日はありがとうございました。
- ・もっと情報などよく知りたい。特に避難の件もよく考えたいと思います。
- ・色々な人の意見を聞くのは楽しいし、実現できるとよいですね。
- ・地域の自立自治の意識を高めることに役立つと思う。
- ・いろいろな課題や解決に向けて話し合う機会はとても大切であると思います。
- ・経験がコメントの数の差となってあらわれた。時間の割には多数の意見が出てよくまとめられていた。
- ・同じ方が参加される会議になってはあまり意味がないが、少人数でも地域のことについて考え、それぞれの参加者の気づきにつなげることは大事であると思う。
- ・ふだん聞くことのできない立場の方から様々なお話をお聞きできて、とても良かったです。本当に一人でも多くの人に参加して、自分の住む地域のこと、そこでの課題などを共有できればと感じました。

◇意見の活用について

- ・今日の皆様からの意見を地域に活かしていきたいです。
- ・どのように意見を生かすのか、報告してほしい。
- ・地域課題は共通していたので、今後の計画に活かしてほしい。
- ・貴重な意見ぜひお役立てください。
- ・今日の意見をここでおしまいではなく、考え方をいろいろな人・団体に経過を伝えてほしい。
- ・色々な意見が聞けて参考になりました。住民の声が反映された計画が策定されることを期待しています。

◇今後の住民懇談会について

- ・ 今後も時間がある限り、会を催して欲しい。
- ・ 色々なお立場の方がいらして、とても良いお話し会となったと思います。もっと沢山の方が参加してくださり、こんな会を共有できたらとてもよいのと思います。できましたら、もっと小地区単位で頻繁に行ってください！！
- ・ 市の発展のため他部間でもこのような催物をやってもらいたい。
- ・ 続けて行ってほしい。勉強になりました。